

2020年度 社会福祉学部前期の授業について

2020.04.28.

社会福祉学部長 金子恵美

学生のみなさんへ

日本社会事業大学は、「学生・社会の感染防止と教育・研究活動を両立させる」ことを、新型コロナウイルス対策の基本方針としています。従って、本学は4月13日より通学によらない授業を開始し、困難な状況の中で、共に学び続けてきました。

今後について検討した結果、社会状況を考慮し、前期は通学によらない授業を基本とすることを、決定しました。

- (1) 学事予定通りの期間に前期の授業を実施することを基本とする(*1)
- (2) 前期は全科目について、通学によらない授業を実施することを基本とする
- (3) ただし、7月以降、社会状況に応じて、少人数(20人-30人程度)の授業について、学内での対面による授業を検討する。

(*1)前期期間：2020年4月13日-8月2日

ただし、社会状況や授業の実施状況によっては、これ以降の補講について検討する。

実習等、通学によらない授業の実施が困難な科目については、社会状況を考慮した上で、事前に学内にて指導・演習等を行い、8月以降に実施予定である(変更することがある)。

ソーシャルワークの根幹が人と人とのつながりにあることを考えると、前期を通学によらない授業とすることは、苦渋の決断でした。しかし、本学は、ICTによる授業を緊急時の対応にとどめず、これを機会として、ソーシャルワーク分野におけるICTの新たな活用を開発することに向けて踏み出すこととしました。

緊急事態として多くの人々がICTを身近に活用するようになったことを契機として、これまで必要や関心がなかった人たちが使うことができるようになっていきます。このツールが日常的に使われることによって、ICTは効率性や合理性の追求を超え、「人と人とを隔てていた距離や時間を越え、豊かな関係性を生みだすことができる」ためのツールとなりえます。

今、この時間を、緊急事態への対応にとどめず、社会福祉学部にあっては、学生と教員が協働し、「新たなソーシャルワークの可能性を追求するための実験・実践をつみあげる時間」としていきたいと考えています。

大学時代の豊かな経験が、現場に出た時に生かされると信じ、未来に期待を抱いて、困難な事態にあっても共に学び続けていきましょう。いつでも、どんなことでも、問いかけてきてください。

引き続き、みなさんに、安全に配慮した思慮深い行動を求めます。

※ ICTによる授業を継続して進めるために、パソコン・タブレットのいずれかをご用意ください。また、十分な容量のあるネット環境を整備してください。これらの機器の整備が困難な場合は、アカデミック・プランニングの担当教員に、メールで状況についてご相談ください。